

令和3年度

富士宮市下水道事業の業務状況説明書

自 令和3年10月  
至 令和4年 3月

水道部 下水道課

## 目 次

令和3年度	富士宮市下水道事業の概況	……………	1
令和3年度	富士宮市下水道事業会計収支状況		
	収益的収入及び支出（収入）	……………	2
	（支出）	……………	3
	資本的収入及び支出（収入）	……………	4
	（支出）	……………	5
令和3年度	月別水洗化率及び有収率	……………	6
令和4年度	富士宮市下水道事業会計予算概要	……………	7
	収益的収入及び支出（収入）	……………	7
	（支出）	……………	8
	資本的収入及び支出（収入）	……………	9
	（支出）	……………	10
令和4年度	富士宮市下水道事業の経営方針	……………	11

## 令和3年度 富士宮市下水道事業の概況

本年度は、公共下水道事業と農業集落排水事業に地方公営企業法の全部を適用し、下水道事業としてスタートして2年目となります。昨年度は、損益収支で2億9,291万906円の純利益を得ることができました。本年度も引き続き、下水道施設の適切な維持管理、管渠等の整備を推進し、雨水の排除及び汚水の適正な処理に努めました。

### 1 処理状況について

公共下水道事業は9,719,663立方メートル、農業集落排水事業では14,966立方メートルを適正に処理しました。

### 2 営業状況について

本年度の下水道事業収益は21億1,114万1,317円(消費税抜き)、下水道事業費用は18億4,870万632円(消費税抜き)となり、損益収支で2億6,244万685円の純利益を得ることができました。

### 3 工事の概要

本年度は、汚水事業として、アクションプランによる小泉・大中里地区の管渠整備を重点的に推進するとともに、ストックマネジメント計画による浄化センター送風機設備の更新工事を実施しました。

雨水事業では、下川2号幹線管渠新設工事を実施しました。

令和3年度 富士宮市下水道事業会計収支状況  
収益的収入及び支出  
(収 入)

(単位 円)

区 分 科 目	予 算 現 額	調 定 額	執行率	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	備 考
1 下水道事業収益	2,189,127,000	2,184,960,747	99.8%	△ 4,166,253	(調定額のうち仮受消費税及び地方消費税以下「消費税」という。 73,897,378)
1 営業収益	999,075,000	996,482,692	99.7%	△ 2,592,308	(消費税 73,882,967)
1 下水道使用料	815,314,000	812,712,692	99.7%	△ 2,601,308	(消費税 73,882,967)
2 他会計負担金	183,683,000	183,683,000	100.0%	0	
3 その他営業収益	78,000	87,000	111.5%	9,000	
2 営業外収益	1,190,051,000	1,188,322,386	99.9%	△ 1,728,614	(消費税 2,141)
1 受取利息及び 配 当 金	1,000	0	0.0%	△ 1,000	
2 他会計負担金	578,030,000	578,030,000	100.0%	0	
3 長期前受金戻入	611,451,000	609,716,137	99.7%	△ 1,734,863	
4 雑 収 益	569,000	576,249	101.3%	7,249	(消費税 2,141)
3 特別利益	1,000	155,669	15566.9%	154,669	(消費税 12,270)
1 固定資産売却益	1,000	0	0.0%	△ 1,000	
2 その他特別利益	0	155,669	—	155,669	(消費税 12,270)

## (支 出)

(単位 円)

区 分 科 目	予算現額	執行額	執行率	予算残額	備 考
1 下水道事業費用	1,944,662,000	1,885,222,286	96.9%	59,439,714	(執行額のうち仮払消費税及び地方消費税以下「消費税」という。 39,916,328)
1 営業費用	1,779,010,000	1,750,615,835	98.4%	28,394,165	(消費税 39,906,820)
1 1 管 渠 費	58,939,000	52,698,647	89.4%	6,240,353	(消費税 4,407,699)
2 処 理 場 費	406,708,000	390,237,483	96.0%	16,470,517	(消費税 34,394,934)
3 普 及 指 導 費	18,437,000	17,889,036	97.0%	547,964	(消費税 114,313)
4 総 係 費	110,248,000	108,992,435	98.9%	1,255,565	(消費税 989,874)
5 減 価 償 却 費	1,181,093,000	1,177,213,699	99.7%	3,879,301	
6 資 産 減 耗 費	3,562,000	3,561,935	100.0%	65	
7 その他営業費用	23,000	22,600	98.3%	400	
2 営業外費用	145,581,000	134,579,289	92.4%	11,001,711	(消費税 7,039)
1 支払利息及び 企業債取扱諸費	135,355,000	134,404,470	99.3%	950,530	
2 雑 支 出	226,000	174,819	77.4%	51,181	(消費税 7,039)
3 消 費 税	10,000,000	0	0.0%	10,000,000	
3 特 別 損 失	200,000	27,162	13.6%	172,838	(消費税 2,469)
1 過 年 度 損 益 損 修 正	200,000	27,162	13.6%	172,838	(消費税 2,469)
4 予 備 費	19,871,000	0	0.0%	19,871,000	
1 予 備 費	19,871,000	0	0.0%	19,871,000	

資本的収入及び支出  
(収 入)

(単位 円)

区 分 科 目	予 算 現 額	調 定 額	執行率	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	備 考
1 資 本 的 収 入	1,030,311,000	1,029,878,626	100.0%	△ 432,374	
1 企 業 債	525,300,000	525,300,000	100.0%	0	
1 企 業 債	525,300,000	525,300,000	100.0%	0	
2 出 資 金	156,060,000	156,060,000	100.0%	0	
1 他 会 計 出 資 金	156,060,000	156,060,000	100.0%	0	
3 分 担 金 及 び 負 担 金	19,771,000	19,339,626	97.8%	△ 431,374	
1 分 担 金	407,000	0	0.0%	△ 407,000	
2 負 担 金	19,364,000	19,339,626	99.9%	△ 24,374	
4 国 庫 ( 県 ) 補 助 金	329,179,000	329,179,000	100.0%	0	
1 国 庫 ( 県 ) 補 助 金	329,179,000	329,179,000	100.0%	0	
5 固 定 資 産 売 却 代 金	1,000	0	0.0%	△ 1,000	
1 固 定 資 産 売 却 代 金	1,000	0	0.0%	△ 1,000	

## (支 出)

(単位 円)

区 分 科 目	予 算 現 額	執 行 額	執 行 率	予 算 残 額	備 考
1 資 本 的 支 出	1,826,760,000	1,790,348,871	98.0%	36,411,129	(執行額のうち仮払消費税及び地方消費税以下「消費税」という。 87,280,793)
1 建 設 改 良 費	1,058,778,000	1,022,367,986	96.6%	36,410,014	(消費税 87,280,793)
1 汚水管渠整備費	626,148,000	597,174,771	95.4%	28,973,229	(消費税 49,957,185)
2 雨水渠整備費	300,148,000	292,870,319	97.6%	7,277,681	(消費税 26,246,102)
3 処理場整備費	125,972,000	125,928,146	100.0%	43,854	(消費税 11,016,968)
4 受益者負担金 徴収業務費	6,510,000	6,394,750	98.2%	115,250	(消費税 60,538)
2 企 業 債 償 還 金	767,982,000	767,980,885	100.0%	1,115	
1 企 業 債 償 還 金	767,982,000	767,980,885	100.0%	1,115	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額760,470,245円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的  
収支調整額55,549,541円、当年度分損益勘定留保資金571,059,497円、建設改良積立金133,609,120円、  
減債積立金200,000円及び当年度利益剰余金処分量52,087円で補填した。

## 令和3年度 月別水洗化率及び有収率

### 1 公共下水道事業

月 別 区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処理区域内人口 (人)	70,828	70,811	70,757	70,730	70,685	70,425
水洗化人口 (人)	62,630	62,501	62,438	62,476	62,376	62,371
水洗化率 (%)	88.43	88.26	88.24	88.33	88.25	88.56
処理水量 (m <sup>3</sup> )	—	1,640,428	—	1,560,600	—	1,403,874
有収水量 (m <sup>3</sup> )	—	1,155,153	—	1,184,264	—	1,151,843
有収率 (%)	—	70.4	—	75.9	—	82.0

※有収水量について使用料調定は隔月でそれに基づいて算出するため、2か月にまとめて記載する。

### 2 農業集落排水事業

月 別 区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月
処理区域内人口 (人)	126	125	125	125	124	123
水洗化人口 (人)	126	125	125	125	124	123
水洗化率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
処理水量 (m <sup>3</sup> )	2,352	—	2,279	—	2,196	—
有収水量 (m <sup>3</sup> )	2,558	—	2,398	—	2,620	—
有収率 (%)	108.8	—	105.2	—	119.3	—

※有収水量について使用料調定は隔月でそれに基づいて算出するため、2か月ごとに記載する。

令和4年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

収益的収入及び支出

(収 入)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1 下水道事業収益			2,184,677	100.0
	1 営業収益		1,001,483	45.8
		1 下水道使用料	817,376	37.4
		2 他会計負担金	184,026	8.4
		3 その他営業収益	81	0.0
	2 営業外収益		1,183,193	54.2
		1 受取利息及び配当金	1	0.0
		2 他会計負担金	588,799	27.0
		3 長期前受金戻入	593,812	27.2
		4 雑収益	581	0.0
	3 特別利益		1	0.0
1 固定資産売却益		1	0.0	

令和4年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

(支 出)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1	下水道事業費用		1,927,913	100.0
	1	営業費用	1,779,471	92.3
		1 管 渠 費	61,167	3.2
		2 処 理 場 費	414,506	21.5
		3 普 及 指 導 費	18,687	1.0
		4 総 係 費	119,419	6.2
		5 減 価 償 却 費	1,163,087	60.3
		6 資 産 減 耗 費	2,585	0.1
		7 その他営業費用	20	0.0
	2	営業外費用	128,142	6.6
		1 支 払 利 息 及 び 企業債取扱諸費	117,931	6.1
		2 雑 支 出	211	0.0
		3 消 費 税	10,000	0.5
	3	特別損失	200	0.0
		1 過年度損益修正損	200	0.0
	4	予 備 費	20,100	1.0
		1 予 備 費	20,100	1.0

令和4年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

資本的收入及び支出

(収 入)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1 資本的收入			988,510	100.0
	1 企業債		497,800	50.4
		1 企業債	497,800	50.4
	2 出資金		132,625	13.4
		1 他会計出資金	132,625	13.4
	3 分担金及び負担金		30,284	3.1
		1 分担金	407	0.0
		負担金	29,877	3.0
	4 国庫(県)補助金		327,800	33.2
		1 国庫(県)補助金	327,800	33.2
	5 固定資産売却代金		1	0.0
		1 固定資産売却代金	1	0.0

令和4年度 富士宮市下水道事業会計予算概要

(支 出)

款	項	目	予算額(千円)	構成比(%)
1 資本的支出			1,738,418	100.0
	1 建設改良費		1,011,861	58.2
		1 污水管渠整備費	643,591	37.0
		2 雨水渠整備費	123,417	7.1
		3 処理場整備費	230,059	13.2
		4 受益者負担金 徴収業務費	10,335	0.6
		5 固定資産購入費	4,459	0.3
	2 企業債償還金		726,557	41.8
		1 企業債償還金	726,557	41.8

## 令和4年度 富士宮市下水道事業の経営方針

令和4年度は、下水道施設の適切な維持管理、管渠等の整備を引き続き推進し、雨水の排除及び汚水の適正な処理に努めます。

### 1 処理状況について

下水道事業の経営の基本となる業務の予定量について、公共下水道事業は年間総処理水量 9,831,959 立方メートル、農業集落排水事業では年間総処理水量 15,580 立方メートルと見込み、適正な処理に努めます。

### 2 営業状況について

本年度は、下水道事業収益 21 億 1,036 万 8,366 円(消費税抜き)、下水道事業費用 18 億 8,554 万 445 円(消費税抜き)と見込み、公営企業としてコスト意識を持った事業執行に努めます。

### 3 工事の概要

本年度は、汚水事業として、アクションプランによる小泉・西小泉町地区の管渠整備を重点的に推進するとともに、ストックマネジメント計画による浄化センター管理本館棟建物長寿命化工事を実施します。

雨水事業では、下川 2 号幹線管渠新設工事を実施します。